

製品名: DOK1 ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe84610**

研究使用のみ

概要

| | |
|--------|--|
| 説明 | 組換えウサギモノクローナル抗体 |
| 宿主 | うさぎ |
| 応用 | WB, ICC |
| 反応性 | ヒト、マウス、ラット |
| 標識 | 非共役 |
| 修飾 | 未修正 |
| アイソタイプ | IgG |
| クローン性 | モノクローナル |
| 形態 | 液体 |
| 濃度 | 0.62mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。 |
| 保存 | アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。 |
| 輸送 | 氷袋 |
| バッファー | 0.05% アジ化ナトリウム、0.05% 保護タンパク質、50% グリセロールを含む PBS で精製された抗体。 |
| 精製 | アフィニティー精製 |

応用

| | |
|------|---|
| 希釈倍率 | WB 1:1000-1:2000, ICC 1:50-1:200 |
| 分子量 | Calculated MW: 52 kDa ; Observed MW: 65 kDa |

抗原情報

| | |
|--------------|------------------------------------|
| 遺伝子名 | DOK1 |
| 別名 | DOK1; p62(dok); P62DOK; pp62;;DOK1 |
| 遺伝子 ID | |
| SwissProt ID | Q99704 |
| 免疫原 | ヒト DOK1 由来の合成ペプチド |

背景

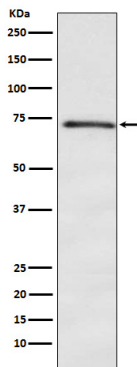
DOK タンパク質は、酵素的に不活性なアダプタータンパク質または足場タンパク質です。多分子シグナル伝達複合体の組み立てのた

めのドッキングプラットフォームを提供します。DOK1 はインスリンシグナル伝達経路の負の調節因子であると考えられています。ITGB3 上の同じ結合部位をタリンと競合することで、インテグリンの活性化を調節します。

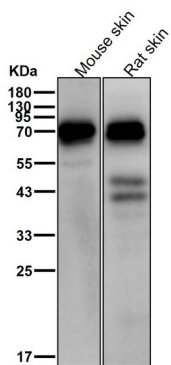
研究分野

-

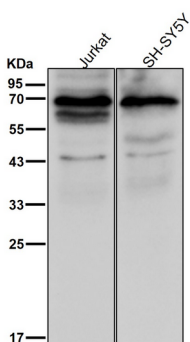
画像データ



K562 細胞溶解物中の DOK1 発現のウェスタン ブロット解析。



すべてのレーンでは、抗体を 1:1K に希釈して室温で 1 時間使用します。



すべてのレーンでは、抗体を 1:1K に希釈して室温で 1 時間使用します。